

学位被授与者氏名	胡 亦名（こ えきめい）
論文題目	王充の「聖王」観念について —『論衡』における周文王像・周武王像から見る—
論文審査結果の要旨	<p>本研究は「周文王」「周武王」をキーワードとして取り上げ、王充がこの二人の「人物」に託した「聖王論」思想を見出した。本研究は上記の論述を通じて、新しい成果として、以下の2点でまとめられる。</p> <p>①王充の思想体系における重要な観念の1つとして、「聖王論」を発見した。</p> <p>②王充研究における新たな視点、新たな研究方法として、「語彙の分布」・「物語の類型」についてのデータ分析によって、王充の「思想根拠」及びその「思想根拠」を証明する過程を探るという研究方法を提案した。</p> <p>その「聖王論」はほかの人物像にどう反映されているか、異なる「人物」であっても、「聖王論」という「思想」が不変であるか、これらの問題は王充の「聖王論」思想を追究するには欠かせない。本研究はこの問題にも取り組み始め、今後の研究課題としてそれを深く追求したい。</p> <p>したがって、本研究は修士論文の基準に到達し、価値の有するものと認める。</p> <p>平成28年2月16日に、北九州市立大学北方キャンパス3号館320教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(中国言語文化)として十分な内容であると判定した。</p>